

2020年4月23日

当院で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けられ患者さまへ

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究はこれまでの治療を受けられた患者さまのカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この内容をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方で、ご質問のある場合、またはこの研究に自分の情報を使って欲しくない、と希望される場合には遠慮なく下記の担当者まで連絡下さい。ただしすでに解析を終了している場合、対応表が廃棄された場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますのでご了承ください。

【対象となる方】2019年7月から2022年3月末までに当院にて心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けられた患者さま

【研究課題名】心房細動治療で行っている肺静脈隔離術後に肺静脈内に残存する潜在性肺静脈 - 心房コネクションについての研究

【研究代表者】製鉄記念八幡病院・循環器高血圧センター・循環器内科・竹本真生

【研究の目的】心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の肺静脈隔離術後に

- ① 肺静脈内に潜在性肺静脈 - 心房コネクションがどのくらいの頻度でどの部位に存在するか？
 - ② 発作性、持続性、永続性心房細動でその頻度に違いがあるのか？
 - ③ それらのコネクションを治療することで治療成績が向上するのか？
- を明らかにすることを目的とする。

【利用する診療情報】性別、年齢、身長、体重、合併疾患（高血圧、糖尿病など）、血液・尿検査（肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、尿酸、炎症所見、凝固機能、心機能、BNP）、心エコー、心臓CT、アブレーション時の画像、1年後の心房細動再発率、合併症

【研究期間】研究認可日より2022年3月末日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】製鉄記念八幡病院・循環器高血圧センター・循環器内科・竹本真生
電話 093-671-9302

【共同研究機関・研究責任者】
福岡記念病院・循環器内科・舩元章浩